

第57回市町村消防長・消防団長会議の開催

10月29日(金)午後、第57回市町村消防長・消防団長会議が、市原市の市原市民会館大ホールで、県下市町村から消防(局)長と消防団長等約150名の出席により開催されました。

会議冒頭、来賓(熊谷千葉県知事、銀川日本消防協会業務部長、生稲県防災危機管理部長、齋藤県消防課長、山口消防学校長)並びに主催者(石橋消防協会会長、中村副会長、鈴木副会長、安達副会長、荘司副会長、関根副会長)の紹介がされ、引き続き、今年の消防長・消防団長会議以降、新しく就任された消防(局)長・消防団長23名の紹介が行われました。



挨拶する石橋会長

その後、鈴木消防協会副会長の開会の言葉、石橋千葉県消防協会長の主催者挨拶、熊谷千葉県知事及び日本消防協会会長(代理 銀川業務部長)の来賓祝辞がなされました。



熊谷千葉県知事の祝辞



銀川日本消防協会業務部長の祝辞

議事は、石橋協会長が議長となり進行され、最初に、生稲防災危機管理部長及び齋藤消防課長による防災危機管理部各課の説明が行われ、その後、山口消防学校長による消防学校の説明に続き、銀川日本消防協会業務部長から各共済事業等の説明がなされ、最後に、鈴木専務理事から千葉県消防協会の事業概要等の説明が行われ、議事は無事終了しました。



生稲防災危機管理部長の説明



齋藤消防課長の説明



山口消防学校長の説明



鈴木専務理事の説明

休憩後には、千葉科学大学副学長の藤本一雄氏による「近年の風水害の特徴と消防団の活動について」と題する講演が行われました。

藤本先生は、1999年3月に東京工業大学大学院博士課程を修了後、千葉科学大学には、2004年4月から勤務され、2020年4月からは副学長に就任されています。



千葉科学大学副学長 藤本一雄講師

専門は、防災・危機管理学、災害マネジメントなどであり、各種学会に所属するとともに、県内の各自治体の様々な専門的な委員会委員に就任され活躍されています。

また、千葉科学大学では、学生消防隊の顧問もなされており、千葉県と消防協会の共催で行った消防団活動PRイベントではシンポジウムのコーディネーターを引き受けていただくなど、地域・職域の防災リーダーの育成についても御尽力いただいています。

講演では、初めに「最近の風水害における問題と改善策」として、平成23年から今年までの大きな被害をもたらした台風等の被害状況と自治体の対応などの解説があり、また、警報や避難情報の変遷等に触れられました。

次に、「風水害時の消防団の活動実態と課題」として、消防団の活動事例の紹介、女性・学生団員数の推移や災害救助法が適用された自治体に対して行った女性・学生団員に関するアンケート結果をもとに、装備、入団に関する考え、期待する活動などの紹介がありました。

最後に、「避難誘導（呼びかけ）に関する知見」として、避難の説得を拒否した事例や避難の説得に成功した事例を交え、人命優先で時には、「命令型」の口調が有効であるとの解説がされました。

なお、これまで実施されていた交流会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、昨年度に引き続き中止となりました。

